

あなたの存在が、 誰かにとっての 希望になるかもしれません。

福祉の仕事とは、その人の人生に伴走すること。
その人が自分の足で人生を歩めるように、
その人自身の力を引き出し、環境を整えること。

生きづらさを抱える人が少しでも毎日楽しく生きられるように、
毎日楽しく生きている人がより幸福に過ごせるように、
人の生活を最前線で支えることです。

その人のこれまでとこれから、人生に関わる仕事だからこそ、
想像力を膨らませて、一緒に解決していく創造力を磨き続けることができます。
人生の様々な瞬間に隣で立ち会えることが自分自身を成長させてくれます。

一緒に悩むこと、一緒にもがくこと、そして一緒に希望を見つけること。
あなたの存在が、誰かにとっての希望になるかもしれません。

神戸市福祉職「チーム神戸」



福祉職
職員数

339名
男性:104名
女性:235名

福祉局: 本庁26人/障害者更生相談所5人/更生センター1人 健康局: 本庁1人/精神保健福祉センター2人
こども家庭局: 本庁6人/療育センター19人/こども家庭センター95人 民間等派遣: 4人
区役所: 区長1人/保健福祉関係(PSW、障害、母子、虐待、生活保護等)179人(うち生活保護担当128人)

合格
実績

令和5年度/大卒通常枠Aチーム4名(倍率10.5)/Cチーム1名(倍率2.0)/一括枠3名(倍率2.7)/経験者通常枠(R5は総合行政区分に含めて実施)
令和4年度/一般枠6名(倍率3.4)/特別枠6名(倍率11.0)/社会人枠1名(倍率20.0)/秋4名(倍率6.0)
令和3年度/一般枠5名(倍率3.2)/特別枠4名(倍率10.5)/社会人枠2名(倍率11.0)/秋3名(倍率7.7)

職場の雰囲気をご紹介!



神戸市 職員採用 検索



神戸市人事委員会

神戸市総合
コールセンター

TEL

0570-083330

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

または 078-333-3330 FAX 078-333-3314

KOBE

みんなの暮らしを支える 神戸市福祉職

神戸市福祉職員募集採用パンフレット

しあわせ
つくろう。

神戸のくらしを最前線で支える仕事です。

だれにとっても暮らしやすいまちづくりの実現のため、様々な福祉分野で働く「チーム神戸」の職員たちを紹介します。



1年目
東部療育センター「ひまわり学園」
指導員/尾関 未祐

「そういうことだったのか!」と子どもたちの言動について理解できた時にやりがいや喜びを感じます。子どもが発信することに対して、常に試行錯誤を行い、新しく柔軟な視点を持つことが大切です。子どもたちの「できた!」の瞬間に立ち合い、ともに喜ぶことが本当に嬉しいです。保育について不慣れなことが多く、模索し続けていますが、上司や先輩から助言をいただくことで学びの多い毎日を送っています。



上司
ひまわり学園
園長 中谷

就学前の子どもたちを対象に支援を行っています。子どもたちによって支援が異なるため、活動状況や発達段階を十分に把握しながら療育を行います。視覚支援などを用い、日常生活の基本的な動作を身につけ、集団生活に適應できるよう支援しています。

8:45	9:00-9:30	10:00	11:45	12:30	13:30	14:00	14:30	15:30	16:30	17:30
朝礼	添乗準備	登園	連絡帳確認 自由遊び 朝の集い	給食 介助	自由遊び 連絡記入	帰りの集い	降園	休憩	掃除 準備 終礼	事務 作業



6年目
こども家庭センター
ケースワーカー/南部 愛里奈

毎日が刺激的で学ぶことが多い職場です。支援や関わり方に正解はなく、まずはその人を知るところから始まります。支援をする中で悩むことも多いですし、本当にこれで良かったのか自問自答を繰り返すときもありますが、こどもの頑張っている姿や成長を見ると、「この仕事を頑張ってきた」そう思えます。これからも、その人らしい生活の支援ができるよう、自分自身が成長していきたいです。



上司
こども家庭センター
係長 田中

ケースワーク業務では、児童の育成、非行相談、養護、発達に関する相談、虐待への対応を行っています。面談や家庭訪問を行い、関わり方の助言や他機関の紹介など、関係機関と連携しながら一人ひとりにあった支援を行っています。

8:45	9:00	10:00	12:00	13:00	16:00	17:00	17:30
朝礼	方針会議 電話対応 相談対応	面談、家庭訪問 関係機関連絡等	昼休	面談、家庭訪問、 関係機関訪問、相談対応、 電話対応、記録・資料作成、会議等	事務 処理		



8年目
中央区保健福祉部 生活支援課
くらし支援係 面接員/篠原 拓弥

様々な不安や課題を抱えた相談者の話をまずはしっかりと聞くことを意識しています。生活保護が必要なのか、他の制度や施策を利用できないかなどの判断をするために多くの知識が求められ、難しさも感じているのですが、相談後に「ありがとう」と感謝の言葉も多く、やりがいはあります。また相談者の人生に触れられるところは面接員の「おもしろさ」だと感じています。



上司
中央区保健福祉部
生活支援課
係長 河原

相談者の話を聞き、今困っていることを整理します。相談者に生活保護の申請意思があれば受理し、その後の支援をケースワーカーに引き継ぎます。生活保護の申請をしない場合でも「来てよかった」と思ってもらえるよう丁寧に対応することを心がけています。

8:45	12:00	13:00	17:30
相談者対応・ 出張面接・記録整理	昼休	相談者対応・出張面接・記録整理	



14年目
こども家庭局
家庭支援課 係長/箱田 真菜美

政策や方針の決定に携わることに大きな責任を感じると共に、他局、他職種とも連携し、チーム神戸として取り組めることは大きな魅力の一つです。市民の方と直に接する機会は少ないですが、政策を考え、支援制度を整えていくことが、未来ある子どもたちの笑顔に繋がっていく。「現場と政策をコミットすること」が市役所(本庁)にいる福祉職の役割だと考えています。



部下
家庭支援課
担当 宇野

制度が適切に運用されるよう、福祉事務所が円滑に支援を行えるよう、それらが必要な方に届くよう、監査、政策立案、連絡調整や市議会対応などを行います。神戸がもっと子育てにやさしい街になり、子どもたちの笑顔がもっとあふれるように取り組んでいます。

8:45	9:00	9:30	11:30	12:00	13:00	14:30	15:00	16:30	17:30
朝礼	決裁 打合せ	外部会議	決裁・ 資料 作成	昼休	打合せ	決裁・ 資料 作成	会議	打合せ	

受験インフォメーション

いずれも大学等での履行科目は問いません。

福祉の専門課程を履行していなくても受験可能です。特別な公務員試験対策はありません。(適性検査)

新卒向け	適性検査方式 他	22~24歳	※院卒24~26歳
社会人向け	経験者通年枠 他	25~39歳	一定キャリア +経験を活かせる方

みなさんとお会いできる日を楽しみにしています

神戸市が求める人材



神戸市は「誰もが安心して自分らしく暮らせる市民福祉の実現」を目指しています。福祉職はその担い手の中心となる職種です。市民目線に立ち、市民に寄り添い、チームとしての和を保ちながら行動できる人材を求めています。

チーム神戸(SI)職員として活躍中

配属先情報

児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉・生活保護等の業務があり、それぞれの分野における配属先の例を紹介します。

福祉施策の企画や立案/本庁(市役所)	直接市民への福祉サービスの提供/区役所(福祉事務所、9区11か所)
くらし支援課 各区生活支援課での生活保護適用のため、監査の実施、要綱制定等	保健福祉課 障害児者・高齢者福祉の相談窓口
家庭支援課 ひとり親家庭の自立支援及び婦人の保護に関する業務の総括 その他、障害者支援課、高齢福祉課等	ひとり親家庭への相談支援業務、児童虐待対応
	生活支援課 生活保護ケースワーカー

こども家庭センター(児童相談所) 一時保護所での入所児童の支援 / ケースワーカーとして、世帯への支援 等
障害児施設 児童発達支援センターでの指導員 / 療育センターのケースワーカーとしての支援 等

直接的な支援を担う指導員やケースワーカー、各現場での各種施策の整備や企画等を行う本庁業務など様々な業務に携わることができます。多くの現場を経験するジェネラリストか、一つの分野を長く携わるスペシャリストの道が選べます。

いろいろな職場とたくさんの仕事がありますよ

福祉職採用の歴史が長い神戸市には、柔軟な視点でアドバイスをくれる先輩や、寄り添い支えてくれる仲間がいます。また、神戸市では、子育て・介護などそれぞれのライフステージに合わせた働き方ができるような休暇制度等があります。

あなたらしさを発揮して、これからの神戸をいっしょにつくっていきませんか。